

1 カノコソウ末

2 生薬の性状の項の次に次を加える。

3 確認試験 次の i)又は ii)により試験を行う。

- 4 i) 本品0.1 gに水20 mLを加え、ジエチルエーテル5 mLを
5 加えて10分間振り混ぜた後、遠心分離し、ジエチルエー
6 テル層を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ
7 ー (2.03) により試験を行う。試料溶液5 μ Lを薄層クロマ
8 トグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポッ
9 トする。次に酢酸エチル／ヘキサン／酢酸(100)混液(60 :
10 40 : 1)を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄層板を風乾
11 する。これに希硫酸を均等に噴霧し、105℃で3分間加熱す
12 るとき、 R_f 値0.45付近に黄褐色～赤褐色のスポットを認める。
13 ii) 本品0.1 gに水20 mLを加え、ジエチルエーテル5 mLを
14 加えて、10分間振り混ぜた後、遠心分離し、ジエチルエー
15 テル層を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラ
16 フィー (2.03) により試験を行う。試料溶液5 μ Lを薄層クロ
17 マトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポ
18 ットする。次にシクロヘキサン／アセトン／ギ酸混液(70 :
19 30 : 1)を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄層板を風乾
20 する。これに噴霧用4-メトキシベンズアルデヒド・硫酸・
21 酢酸・エタノール試液を均等に噴霧し、105℃で3分間加熱
22 するとき、 R_f 値0.55付近の青紫色のスポット又は R_f 値0.5付
23 近の最初に淡赤色～淡赤褐色、後に青紫色を呈するスポット
24 のうち少なくともいずれかのスポットを認める。

25